

# まるい校舎

加古川市立川西小学校

校長室だより 第3号

令和5年5月17日

## 「読書に親しむ子」を育てる

「読書には多くのメリットがある。」と言われ、学校の教育活動でもよく取り入れています。「読書が子どもに与える効果」には諸説があるようですが、以下のような効果があるとされています。

- ◆ 読書をするると集中力が養われる
- ◆ 読書をするると人の気持ちを理解できるようになる
- ◆ 読書をするると言語能力が身に付く

プラスの効果がありそうなことは分かっていますが、スマートフォンやタブレットの普及により、子どもたちが紙媒体の本に親しむ機会は減っているのが現状です。昨年度の学力学習状況調査の結果にも、子どもたちの「読書離れ」の傾向が強く表れていました。

「読書に親しむ子」を育てるために、学校では様々な取組を進めています。中には、地域の有志の方々が進めてくださる活動もあります。教育活動をご支援くださっている「読み聞かせボランティアさん」と「図書ボランティアさん」の活動の一場面を紹介させていただきます。



### 読み聞かせボランティアさんの活動

毎月1回、朝の活動の時間に、1・2年生とひなっこの教室で、絵本の読み聞かせをさせていただきます。

大きな絵本を使ったり、大型モニターに絵本を映したりしながら、毎回違うお話をさせていただきます。

子どもたちが、集中してお話に聞き入る時間です。



### 図書ボランティアさんの活動

こちらも毎月1回、図書室の環境整備や本の修繕を手伝っていただきます。業間の休み時間には、誰でも参加できる「読み聞かせコーナー」があります。

低学年だけでなく、高学年の子にも読み聞かせは好評で、じっと聞き入っています。

読書活動に慣れていない子が「ひとり読み」をするのは、なかなか大変なことです。「読み聞かせ」は、「ひとり読み」への導入段階として有効だと言われており、2組のボランティアの皆さん方が、それぞれの形で読み聞かせ活動を行ってくださることで、より多くの子が読書に興味を持つようになって考えています。

ボランティアの皆さん、ありがとうございます。これからもよろしく願っています。